

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

"つなぐ"テクノロジーを通じて顧客価値創造型事業へ展開し、収益性重視で豊かな社会づくりに貢献

売上高
8,250億円

営業利益
850億円

営業利益率
10.3%

ROE
16.5%

2 中長期の経営戦略

1. インフラ向けビジネス拡大

光ファイバケーブル基盤強化。国内はAB-WTC™普及促進、海外はS
WR®/WTC®供給強化とモロッコ拠点での生産ライン構築。WTC®海外
生産比率を5割超へ

3. 超電導線材開発

核融合発電R&D案件取り込みによる売上拡大。増産投資とコストダ
ウン施策、サプライチェーン構築推進

2. データセンタ向け事業拡大

次世代小型多心コネクタ生産能力拡大。米国シェア拡大と日本・欧
州・東南アジア需要獲得。ハードディスクドライブ用アクチュエー
タ増産投資

4. ファイバレーザ事業展開

半導体加工市場開拓。EX-Fusionとの協業によるCFRP切断ビジネス
確立とレーザー核融合ビジネス展開

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・トランプ政権の相互関税による景気後退懸念・為替変動リスク対応
- ・サプライチェーン見直しと生産性向上によるコスト競争力強化

② 事業部門ごとの課題

- ・エレクトロニクス：スマートフォン需要堅調もサプライチェーンリスク・産業機械市場回復遅れに注視
- ・自動車：EV市場成長鈍化と米国追加関税の影響に注視。世界生産台数増加見込み

③ 成長投資と株主還元

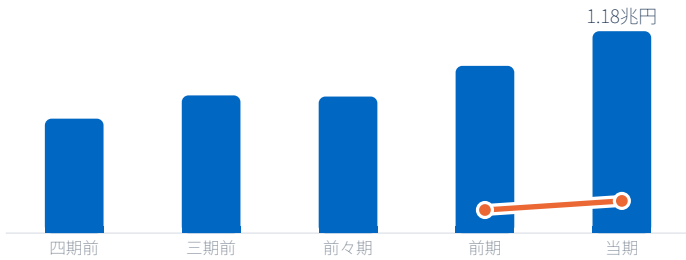
- ・25中期超過キャッシュを成長投資と株主還元に充当
- ・2026年3月期連結配当性向を40%に設定

面接で使えるポイント

- ・2025年度売上高9,794億円・営業利益1,355億円で25中期定量目標を1年前倒し達成した成長基盤を次期へ活かす姿勢
- ・光ファイバケーブルのWTC®海外生産比率を5割超へ引き上げるグローバル展開戦略
- ・核融合発電・ファイバレーザ・EV急速充電をBeyond2025として技術開発を推進する将来への投資姿勢

証券コード 5803

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.18兆円営業利益率
16.0%財務健康度
61点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 66.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
935万円

非鉄金属内 2位/32社

平均年齢
43.4歳

非鉄金属内 13位/32社

平均勤続
15.4年

非鉄金属内 21位/32社

女性管理職
4.8%

非鉄金属内 14位/28社

男性育休
77.2%

非鉄金属内 13位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 深川ギャザリアのサステナブルな運営を一層強化 | 株式会社フ

